

日本医業経営コンサルタント協会第262回東京都支部理事会議事録

日 時 令和7年9月16日(火) 18時00分～19時10分

会 場 Web開催

出席者 支 部 長 眞鍋一 (順不同・敬称略)

副支部長 今村顕

理 事 佐藤由巳子 外山和也 永瀬隆之 森田仁計 横田克彦
吉崎隆 脇千香子

監 事 小林智之 10名

欠席者 副支部長 薄井照人 2名

監 事 小野瀬由一

審議事項等

1. 東京大会について

第30回コンサルタント学会東京大会は、令和8年10月30日、品川インターシティホールにて「いまこそ、激変の時代を乗り越える！2040年に向けて。医療・福祉・介護のためにできること」をテーマに1日開催とすることが報告された。開催形式は現地開催と収録Web配信の組み合わせで、一般演題はWeb配信とする。ポスターデザインは東京タワーをモチーフとしたものに決定し、支部ホームページに掲載済みである。学会準備委員の香川大会への参加について、業務内容を鑑み、旅費等の支部からの支出が承認された。なお、当該委員は当日の支部理事会へのオブザーバー出席及び大会引継ぎ会にも出席することとした。

2. 支部顧問選任の件

支部顧問候補の2名の有識者に関し、経歴書等とともに説明があり、顧問の就任が承認された。

3. 支部相談役に関する件

全国支部長会での指摘に対する取組の一つとして、OB/OGとの連携強化を目的として、支部相談役制度の導入について提案があり、案が説明された。審議の結果、条文等の詳細について更なる検討が必要との意見が挙げられたため、理事の意見を募り、継続して審議することとした。

4. 東京大会シンポジウムについて

大会実行委員会で承認された東京大会シンポジウムの内容に関して、当日の実行委員会での指摘事項も踏まえた詳細に関する説明があった。審議の結果、費用の捻出に関する検討を進める必要があり、概算費用の算出を経て、継続して審議することとした。

報告事項等

1. 東京都病院協会ウェブサイトバナー広告掲載の件

東京都病院協会ウェブサイトバナー広告の掲載について、書面審議により承認されたことが報告された。

2. 本部各種常任委員会報告

1) 総務委員会

入会審査、会員休止申請、弔慰金支給、永年勤続表彰、入会申込書等の様式改定といった審議事項は理事会に上程することが承認された。賛助会員の所属支部に関する規定が変更され、支店所在地も所属支部とすることが理事会で承認され、関連する様式改定も上程される。また、「医業経営コンサルタント認定登録証」が条文化されていなかったことに対する関係規定の改定も理事会で承認された。休止者等の条件緩和については、原則「一次試験合格から翌々年度末まで」とする方向で検討が進められており、会員証の電子化も協会全体のシステムに関わる問題として継続検討されることとなった。

2) コンサルプラス推進室

第2回会議(7月31日開催)の活動が報告された。地域に特化したオンライン交流会が企画され、会員間の知り合いを増やすことを目的としている。コラム投稿促進策として、9月から11月にコラムコンペティションを開催し、優秀作品を医療機関向けチラシとして機関誌JAHMCに同封する予定である。学会でのブース出展や懇親会テーブル確保を通じてコンサルプラスの周知活動も継続する方針である。また、6月6日に実施された新入

会員対象オンラインセミナー兼交流会のアンケート結果を確認したことが報告された。

3) 調査研究・提言委員会

調査研究・提言委員会は8月19日に開催された。歯科経営専門分科会は香川大会でブース出展することとアンケート回収支援が要請された。情報活用専門分科会は書籍「医療情報活用人材の育成（仮題）」の令和8年度予算での出版実施を理事会へ上程する。税制専門分科会は厚生労働省と提言をまとめ、認定医療法人制度セミナー共催を計画。在宅医療・介護事業経営専門分科会は介護コンサルティングスキルの確立に向け研修を企画した。医療DX専門分科会は「DX実践ガイドライン」公開を目標とし、業務内容解説のDX支援業務は委員長が執筆。医業経営相談の有償相談は2件成立し、現行対応が適切と判断された。代替サービスについては、半年程度経過の後、改めて審議することとした。

4) 教育研修委員会

収録講義「IT時代における現場に必要なシステムを判断する知識の習得④」が承認された。令和7年度本部継続研修では、辞退のあった国内視察研修に代わり、画期的な黒字病院を視察する方針で候補選定と交渉を進めることが決定した。継続研修受講料の見直しは支部要望を受け、業務執行会議で審議されることが了承された。提出された3件の継続研修実施申請は承認され、医業経営実務講座の第14期スケジュール確定、新入会員研修での交流の場の重要性確認、医業経営管理能力検定の11月実施などが報告された。

5) 学会・学術委員会

第29回香川大会は「持続可能な地域医療の未来と医療DXの展望」をテーマにフルスペックで開催され、オンデマンド配信は11月21日から。第30回東京大会のテーマ「いまこそ、激変の時代を乗り越える！」が確定し、令和8年10月30日の1日開催で一般演題はWeb配信のみとする。新潟大会のJAHMC学会賞結果、永瀬理事の講演の好評、全日本病院学会in北海道の座長決定も報告された。コンサルタント学会マニュアルの修正案として、Web配信の裁量や開催都市決定基準などが検討された。

6) 広報委員会

8月4日第2回会議はJAHMC編集会議と同日に行われ、交流の機会を兼ねリアルで開催された。審議事項の「戦略的広報活動」では、会員増強に向けた方策が議論された。具体的な周知・集客方法および入会後の継続メリット案は、次回の委員会で計画としてまとめ、具体的なアクションに繋げる準備を進めることとなった。また、東京都支部で実践されている病院コンサルタント育成研究会のメルマガ発行やセミナー活動のノウハウを、全国的にパッケージ化して活用することも模索された。その他、「支部広報連絡会議の開催報告」と、「ジャパンヘルスおよび国際モダンホスピタルショーへの展示会出展」について報告と確認が行われた。

7) 財務委員会

昨年度決算では、収支において一定のマイナスが生じた。今年度は会員減少に伴い会費収入が減少する見込みであり、現状の支出を維持すれば、来年度は収支においてさらなるマイナスとなる可能性が高い。このため、財務担当副会長を中心に、収入増加と支出削減を含む事業の抜本的な見直しが必要であるとされた。また、各支部が保有する繰越金は、公益法人財務基準の遊休財産保有制限に抵触する可能性が指摘された。これに対し、本部への資金集約と投資による収入増加を令和9年度から目指すことが模索されている。支部個別申請予算の利用促進も議論された。

3. 支部各種委員会報告

1) 会員支援委員会

開催された交流会に関して、合計25名の参加があり、盛況のうちに終了したことが報告された。活動後には効果測定のためアンケートを実施し、その結果、多くの参加者から高い満足度が得られたことが確認された。ゲストスピーカーによるプレゼンテーション内容も評価されたほか、参加者間の交流機会に対するニーズが高いことが明らかになった。今回の成功とアンケートから得られた結果を踏まえ、次回は11月を目途に同様の交流会を実施する方針であることが述べられた。

2) 広報戦略委員会

前回報告したアクセスが伸び悩むホームページの改善に向け、動画配信の検討を進めていることが報告された。具体的には、ホームページの制作・運用を委託している業者に対

し、関連する支援項目の洗い出しを依頼し、その見積もりも含め、再度検討を進めていることが報告された。

3) 業務推進委員会

8月には、特定労務管理対象医療機関の今後の支援について関係者との打ち合わせを実施したことが報告された。また、同月後半には、労務の基礎に関する研修会を開催したことが報告された。

4) 総務委員会

前回理事会の議事録作成、本日の理事会開催に先立ち議題及び資料の確認のほか、支部顧問への挨拶回りを行ったことが報告された。

4. 本部理事会等報告について

本部理事会等の内容について次の事項が報告された。①賛助会員加入について、②支部会員数、③一次試験テキスト検討特別委員会の設置について、④学会・学術委員会委員の選任について、⑤個別申請予算について、⑥賛助会員制度の改定について、⑦東京大会について、⑧支部が作成する文書等におけるイラスト使用について、⑨議事運営協議の場（次期理事の定数、支部長の重任）。

5. その他

過日、書面審議によって承認された東京都病院学会案内状への東京大会広告掲載に関し、印刷された案内状が示された。当案内状は東京都病院協会によって5,000部が配布される予定であることが報告された。また、歯科経営に関するアンケート協力のお願について説明があり、協力が要請された。

小林監事より次の意見が述べられた

大会に関する決定プロセスに関して、実行委員会と理事会の優先順位について整理して理解しておく必要がある旨が述べられた。

以上

議事録署名人	議事録署名人
9月26日	9月26日
	